

成果の説明書

(氏名) 片岡 美喜	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
1. 研究成果	
<著書>	
・片岡美喜「グリーン・ツーリズムのゆくえー農業・農村の価値を高める認定制度を活用してー」『信州自治研』, 長野県地方自治研究センター, (377) 1-8, 2023年7月.	
・片岡美喜「第3章 群馬の食・農探訪ー高崎市を事例として」「コラム3 ぐんまにおける「農業・農村遺産」観光のすすめ」『大学的群馬ガイド』昭和堂, 53-69, 70-72, 2024年3月.	
<学会発表>	
・片岡美喜,高津英俊「市町村における就農支援政策ー支援対象および支援内容に着目してー」日本地域政策学会大会(東京), 2023年7月8日.	
・片岡美喜「気候変動下における果樹生産に関する政策的対応と農業経営への反映」日本農業経営学会 第22回全国大会(東京)第4分科会:農業経営における気候変動への適応行動の実態と課題の検討ー国際比較による接近ー, 2023年9月10日.	
<外部研究費>	
・研究代表者:科学研究費基盤(C)「世界/日本農業遺産地域を軸とした持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因」(2021年~2025年度:期間延長), 研究課題/領域番号:21K05819	
・研究分担者:科学研究費基盤(B)「気候変動に対する農業経営体次元での適応行動に関わる経営管理理論の構築」(2021年~2025年度、研究代表者:京都大学伊庭治彦), 研究課題/領域番号:21H02299	
2. 教育活動	
<担当講義について>	
・地産地消・スローフード論	・エコツーリズム論
・観光資源論	・基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ
・高崎市の課題と政策	
・エコツーリズム・グリーンツーリズム特論(大学院)	
<p>今年度は、対面での講義を実施した。講義資料の改善を行い、情報の更新や学生にわかりやすい事例の追記など、講義内容一層の充実を図った。そして、講義内課題の内容を匿名化したうえで学生の意見を相互にみられるようにしている。また、学生らには他学生の意見を読んだうえで考察できるような講義課題を提示している。これらの取り組みは、受講生から「他の受講生の意見を知ることができて理解が深まった」「このような工夫を続けてもらいたい」など好評であった。</p>	
<ゼミ活動について>	
2年生は調査に関する基礎学習を行い、2班に分かれたグループ研究を実施した。一方の班は鬼石町における地域観光に関する現状と課題として、藤岡市役所、鬼石観光協会、道の駅、ゲストハウスの方など、多様な主体への調査を実施した。もうひとつの班は嬭恋村における地域観光とキャベツツーリズム研究会の実践に関する現地調査を実施し、同町役場、観光協会への調査を行い、嬭恋村の観光の現状と今後のあり方を提示した。これらの成果は全国エコツーリズム学生シンポジウムにて、ポスター発表を行った。	

3 年生は、高崎市を対象に、本市の地域観光に関するグループ研究を行った。演習 I にて、高崎市役所観光課の松田課長から本市観光の現状に関する講義をしていただき、学生に期待したいことを示してくださった。これらをふまえたうえで、①高崎じまんを対象とした持続可能なお土産のあり方、②高崎駅周辺のまちなか観光のあり方に関して、関係者への現地調査と実践を行った。①高崎じまんを対象とした持続可能なお土産のあり方については、同店にて 2024 年 2 月 14 日から 29 日まで学生らによる売り場設置をさせていただき、店頭にて PR 活動を行った。今後は市内産原材料を使って、市内事業者が作った特産品の PR リーフレットを作成し、配布予定である。これらの成果は、全国エコツーリズム学生シンポジウムにて研究発表をしている。

4 年生のゼミ生に対しては、卒業論文に係る研究指導を行った。2023 年 9 月に卒論研究の中間発表会（日光）、11 月－12 月にはコンピューター教室にて執筆作業と指導を行った。

先述の活動のほか、例年参加している本学、和歌山大学、広島大学、広島修道大学、琉球大学の近い研究領域のゼミナールで毎年合同の現地調査や研究交流を行う「五大学合同ゼミ和歌山大会」が 2023 年 9 月に和歌山県紀美野町にて開催された。本ゼミ生 9 名とともに参加し、研究交流の機会を得た。

3. 学内業務

- ・教務委員会 委員長（教務担当学部長補佐）
- ・学部・自己点検自己評価委員会 委員
- ・教職課程運営委員

4. 社会活動

（1）学会活動、その他地域活動

- ・地域農林経済学会 第 24 期理事（関東支部代表理事）
- ・日本農業経営学会 第 21 期理事
- ・日本農学会運営委員（2022 年 11 月より）
- ・研究学会誌の論文査読（4 本）

（2）各種委員会

- ・文部科学省 教科用図書検定調査審議会 委員
- ・群馬県自然環境保全審議会 自然環境部会 委員長
- ・群馬県絹遺産推進委員会 委員（～2024 年 1 月退任）
- ・群馬県多面的機能の発揮の促進に関する第三者委員会 委員
- ・群馬県令和 5 年度ぐんま農泊実施地域選定会議委員
- ・高崎市男女共同参画審議会 副委員長
- ・軽井沢町 22 世紀風土フォーラムまちづくり活動支援部会 委員
- ・地産地消コーディネーター（一般社団法人都市農山漁村交流活性化機構）

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

次年度以降の抱負として、現地調査を増やし、さらに理論面、実証面を充実させた研究報告、論文執筆を行うことである。